# 陳　情　文　書　表

（令和８年12月１日）

| | |
|---|---|
| 受理番号・受理年月日及び件名 | 陳情第269号（８．11．20）<br>実際の国際紛争において、軍事利用されているインフラや民間空港が真っ先に攻撃対象となる危険性がある神戸空港の特定利用空港指定に同意しないよう求める陳情 |
| 陳情の要旨 | １．平和環境を弱める神戸空港の「特定利用空港」指定に同意しないこと。 |
| 陳情者の住所及び氏名 | 神戸市西区<br>憲法共同センター西区の会<br>代表　畦布　久隆 |
| 送付委員会 | 経済港湾委員会 |

神戸市議会長　よこはた　和幸様　　２０２６年１１月20日

陳情　憲法共同センター西区の会

代表　畦布　久隆

神戸市西区

実際の国際紛争において、
軍事利用されているインフラや民間空港が真っ先に攻撃対象となる危険性がある
神戸空港の特定利用空港指定に同意しないよう求める陳情

## 【陳情趣旨】

国から、神戸市が管理する神戸空港を「特定利用空港・港湾」に指定する旨、説明があり、神戸市での検討が進められています。

国の安保３文書の「国家安全保障戦略」（２００２年１２月閣議決定）には、「総合的な防衛体制の強化の一環として、自衛隊・海上保安庁による国民保護への対応、平素の訓練、有事の際の展開等を目的とした円滑な利用・配備のため」「自衛隊・海上保安庁のニーズに基き、インフラの整備」が位置づけされ、合わせて「有事の際の対応も見据えた空港・港湾の平素からの利活用に関するルール作り等を行う」と明記しています。

「特定利用空港」に指定されると、平時から軍事利用され、軍事施設と見なされてしまいます。

ロシアのウクライナ侵略でもアメリカのイラン攻撃（イランの報復攻撃）等でも、軍事基地だけでなく軍事利用されているインフラ（エネルギー施設など）や民間空港が真っ先に攻撃され、近隣の病院・施設は攻撃されています。これは、他国の絵空事ではなく、実際に起こっている事であり、神戸空港は例外ということではありません。

日本の周辺国に対して、軍事力で圧力をかけるような対応は、緊張関係を高め、戦争の危険を拡大するだけです。全ての国に、平和外交の力で接し、対話と包摂の態度で努力することが必要です。平和外交に効力を与えるためには、現状の軍事基地以外に民間空港や民間港湾まで軍事利用することはきっぱり中止すべきです。

神戸空港は神戸港と同様に、近畿地方や兵庫県の「ものづくり」を支える物流の拠点であり、国際観光都市として世界に名を馳せている神戸市の玄関口です。平和な神戸市づくりに逆行して、外国からの攻撃を招きかねない、平和環境を弱める「特定利用空港」の指定に同意しないように求めます。

## 【陳情項目】

平和環境を弱める神戸空港の「特定利用空港」指定に同意しないでください。